



De'Longhi

Distinta
Electric Kettle

デロンギ
ディスティンタ
電気ケトル

型式番号

家庭用

KBI1200J

※ 本体の型式番号「KBI1200J」の後に続くハイフンおよびアルファベットは、色番号を表すものです。

取扱説明書

保証書付

目次

安全上のご注意.....	2
仕様.....	3
各部の名前	4
使い方	5
お手入れ	6
故障かな?.....	6
アフターサービス.....	7
保証書	裏表紙

この製品は湯わかし専用です。
保温機能はついていません。

このたびは、デロンギ製品をお求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

お読みになった後は、保証書（裏表紙）とともに大切に保管してください。

本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

安全上のご注意 <必ずお守りください>

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を「警告」「注意」の2つに分け、説明しています。



警告

誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



禁止

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



指示

この絵表示は、必ずしていただく「強制」内容です。

警告

定格 15 A (100 V) の壁コンセントを単独で使用する

(火災の原因)

- ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しない。

電源プラグは根元までしっかりと差し込む

(火災の原因)

電源プラグやコンセントのほこりなどは定期的にから拭き掃除をする

(火災の原因)

異常・故障時には直ちに使用を中止する
(火災・感電・やけどの原因)

< 異常・故障例 >

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- ケトル本体に変形や破損がある。
- ケトル本体からの水漏れ。
- 沸いたのに電源が切れない。
- 本体が転倒、落下した。

※ 異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社テクニカルセンターへ点検、修理を依頼してください。



指示



禁止

子供など取扱に不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児に手の届くところで使わない
(火災・感電・やけど・けがの原因)

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
(感電の原因)

電源プラグ・コードを破損させない

(火災・感電の原因)

- 傷付けたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない。
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない。
- 火に近づけたり、高温部に近づけたりしない。

※ 電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社テクニカルセンターへ点検・交換を依頼してください。

水は最大水量 (max ライン) 以上いれない

(やけどの原因)

- お湯が吹きこぼれる場合があります。

本体を傾けたり、ゆすったり、お湯を入れたまま移動しない

(やけどの原因)

注ぎ口をふきんなどでふさがない

(やけどの原因)



禁止

⚠ 注意

必ず付属の電源ベースを使用する

(火災・やけど・けがの原因)

- ケトル本体を直火（ガス台など）、電気ヒーター、電磁調理プレート、ストーブなどの熱源に置かない。

使用するとき、必ずふたを閉める

(火災の原因)



指示

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災・感電の原因)

- 電源コードを無理に引っ張らない。

使用後は、必ず電源プラグを抜く

(火災の原因)

お手入れは必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体各部や付属品が冷えてから行う

(感電・けが・やけどの原因)



禁止

不安定なところ、熱に弱いテーブルや敷物の上では使用しない

(火災・やけど・けがの原因)

- 壁や家具の近くで使用しない。
- 電源コードをコードホルダーに巻きつけたまま使用しない。

火気の近くや直射日光が長時間あたる場所で使用しない

(変形・故障の原因)

- 熱源の近くで使用しない。
- 屋外や湿気の多い場所で使用しない。

水以外のものを入れたり、他の用途で使用したりしない

(けがの原因)

使用中および使用後しばらくは、高温部に触れない

(やけどの原因)



禁止

本体や電源ベース、電源コード・プラグに水（お湯）をかけない

(火災・感電の原因)

- 水をかけたり、水につけたり、水洗いしたりしない。

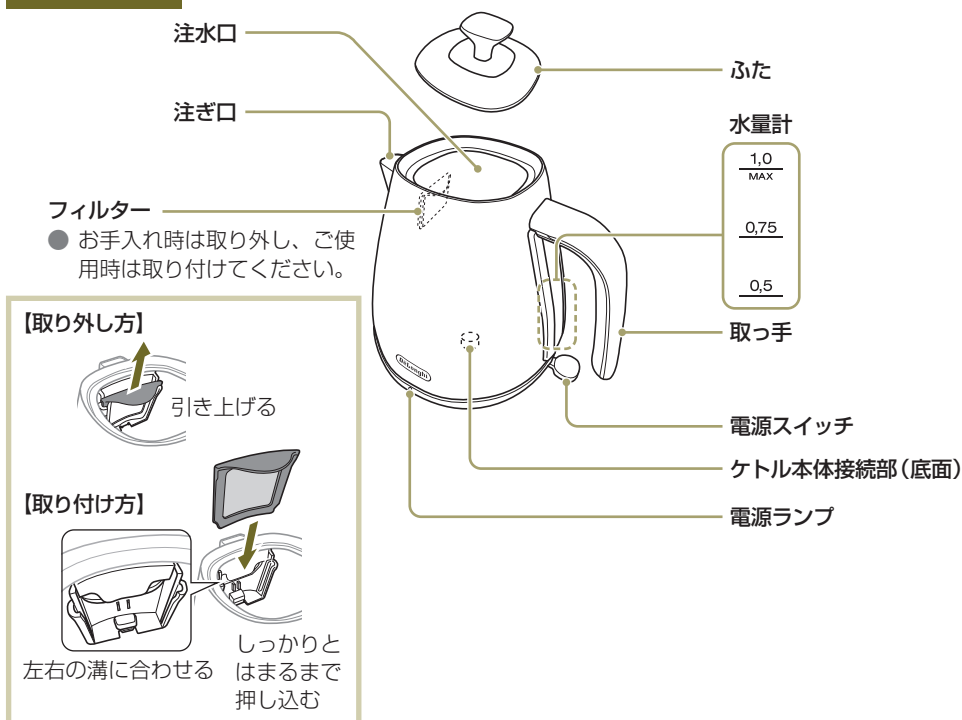
※ 誤って水（お湯）をかけてしまった場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社テクニカルセンターへ点検、修理を依頼してください。

仕様

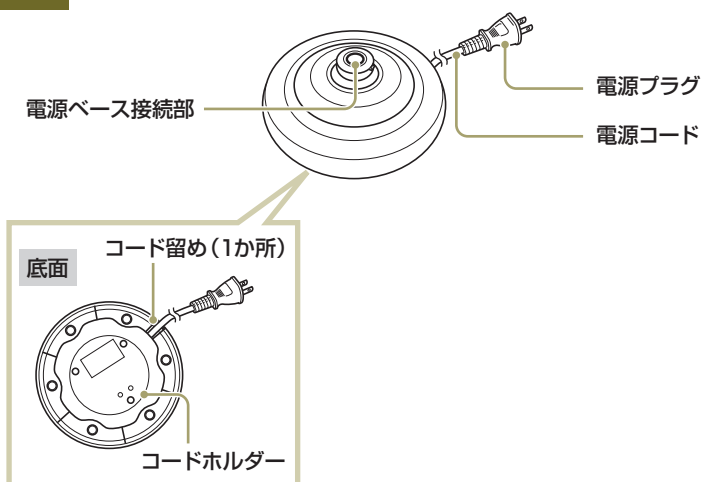
製品名称／型式番号		デロンギ ディスティンタ 電気ケトル／KBI1200J
定格	電圧／周波数	交流 100V ／ 50/60Hz
	消費電力	1200W
定格容量		1.0L
大きさ（約）	本体：幅 215 ×奥行 165 ×高さ 205（mm）	
	本体＋電源ベース：幅 215 ×奥行 165 ×高さ 225（mm）	
質量（約）		本体：0.9kg 本体＋電源ベース：1.1 k g
材質		ケトル本体：ステンレススチール（SUS304）、 電源ベース：ポリプロピレン、水量計：ポリアミド
原産国		中国

各部の名前

ケトル本体



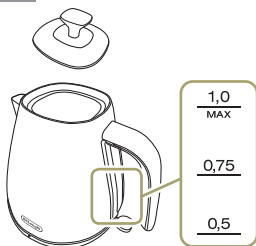
電源ベース



使い方

1 水を入れる

1 0.2L ~ 1.0Lの範囲で水を入れる



最大水量：1.0L
最小水量：0.2L

2 ふたを閉める

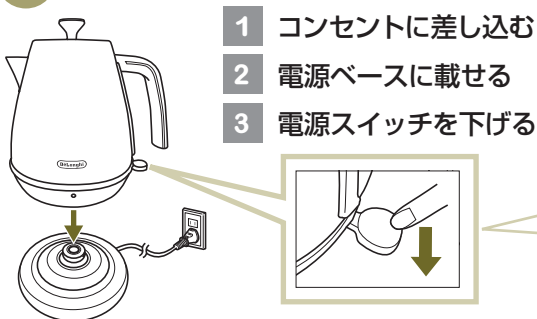


※ 最小水量以下の水量では、空焚き防止機能が働いて、本体内の安全装置が作動し、ヒーター部への通電が自動的に切れます。

⚠ 注意

- ケトル本体や電源ベース、電源コードに乳幼児の手が届く場所で使用や設置をしない。(やけどの危険)
- 最大水量を超えて水を入れない。(やけどの危険)
- お湯を沸かす際は、必ずフィルターを取り付け、必ずふたを閉める。

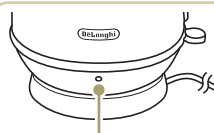
2 お湯を沸かす



1 コンセントに差し込む

2 電源ベースに載せる

3 電源スイッチを下げる



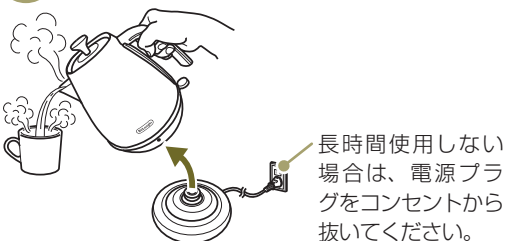
ランプが点灯し、湯沸しを開始
※ 途中で電源を切るときは
電源スイッチを上げて切ってください。

電源スイッチが元に戻り、ランプが消灯
湯沸しが完了し、自動で電源が切れる

⚠ 注意

- お湯を沸かしている間や沸いた後に、絶対にふたを開けない。(やけどややけがの原因)
- 注ぎ口からの熱い蒸気や、熱くなった本体に手や顔を近づけない。(やけどやけがの原因)

3 お湯を注ぐ



- 保温機能はついていません。
- 続けてご使用の場合は、1～2分間の時間を置いてください。

必ずお守りください

使用後は水垢の付着をおさえるため、ケトルを空にします。



お手入れ



傷や変形の原因になるので、クレンザー（研磨剤）、ベンジン、シンナー、金だわしは使用しない。

フィルター

柔らかいスポンジと台所食器用洗剤で水洗いする

※ 取り外して洗い、乾かしてから取り付けてください

電源ベース

よく絞った布でふき取る



本体内容器

すすぎ洗いの

※ 石灰分のお手入れは、下記を参照してください。

本体外側

よく絞った布でふき取る

電源プラグ／電源コード

柔らかい布で乾拭きする

- 落ちにくい汚れは、お湯で薄めた台所用洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞ってから拭き取ります。その後、お湯を含ませ固く絞った布で、洗剤を残さず拭き取ってください。

内容器のお手入れについて（食酢・クエン酸洗浄のしかた）

長く使っていると、ケトル内に石灰分が付着し、白い膜ができます。使用頻度や水質により mais が付着が目立つ場合は、以下の方法で石灰分を除去してください。

2～3か月に一回を目安に行ってください

食酢もしくはクエン酸

約30g（大さじ2～3杯）

＋
水

1.0L

洗浄工程

はしなどで
かき回して
お湯を沸かす

お湯が
沸いたら
1時間放置

お湯を
捨てる

- 食酢を使用した場合は、酢のにおいが消えるまで、すすぎ行程を繰り返してください。繰り返す場合は、1～2分程度の休み（電源オフ状態）をとってください。

すすぎ工程

1～2分後
水だけで湯
を沸かす

お湯を
捨てる

故障かな？

修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

？ 温度が上がらない／沸騰しない

チェック 電源プラグ ▶ コンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

？ 電源が入らない

チェック1 電源プラグ ▶ コンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

チェック2 水の量 ▶ 最小水量以上の水を入れていますか？

水が入っていないと、空だき防止機能が働きます。ケトルを電源ベースから外し、しばらく冷ましてから水を足してご使用ください。

？ お湯がふきこぼれる

チェック 水の量 ▶ 「1.0」ライン（＝最大水量）以上の水が入っていませんか？

「1.0」ラインを超えて注水しないでください。

？ 本体が熱い

お湯を沸かしている間や沸いた後のケトル表面は、大変熱くなります。やけどをしないように取っ手を持って、十分気をつけてお取り扱いください。

故障ではありません。

アフターサービス

1 使用中に異常（★）が生じた場合：

直ちに電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（裏表紙参照）にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 電源コード、電源プラグが変形／破損している
- 本体や電源ベースに、水やジュース（液体）などをこぼした
- 本体に、強い衝撃（転倒・落下）を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2 万一故障した場合：

保証書に記載されている販売店に ①お買い上げ日 ②製品名と型式番号 ③故障の状況－を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※ 宅配便等を利用して当社テクニカルセンター（裏表紙参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封くださるようお願いいたします。

※ お送り先については、事前にお電話、あるいはホームページ（裏表紙参照）にてご確認ください。

※ 保証規定に関しては、保証書をご参照ください。

3 補修性能部品の保有期間について：

当社では、この製品の補修性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4



まごころ点検について：

長年ご使用の電気ケトルは、点検をお勧めします。

保証期間（1年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、当社テクニカルセンター（裏表紙参照）までお問い合わせください。

5



デロンギ再資源化システムについて：

ご不要になった製品は、下記の要領に従い、当社テクニカルセンター（裏表紙参照）までお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

● **送料について：**再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。予めご了承ください。

● **梱包について：**製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアërパッキンにくるんでください。

※ 修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（裏表紙参照）までお問い合わせください。

保証書（共通）

ご販売店様へ、※印欄は必ずご記入ください。 **持 込 修 理**

製品名：デロンギ ディスティンタ 電気ケトル		型式番号：KB11200J	
お客様	ご氏名：様	※店名・住所・TEL：印	
	TEL：		
	ご住所：〒		
※お買い上げ日： 年 月 日		保証期間：お買い上げ日より1年間	保証対象：本体

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社テクニカルセンターに直接ご相談ください。
4. 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担になりますので、ご了承ください。
 - イ. 本書のご提示がない場合
 - ロ. 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷
 - ニ. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧・周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷

- ホ. 一般家庭用以外（例えば業務用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
 - ヘ. 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
 - ト. 消耗品が消耗し、取り替えが必要な場合
 5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
 6. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記デロンギ・ジャパンテクニカルセンターにお問い合わせください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

この製品は欧州 RoHS 指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



デロンギ・ジャパン テクニカルセンター（受付時間：土、日、祝日を除く毎日 9:30～17:00）

コールセンター **Tel.0120-804-280** **Fax.0120-956-020**

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13-13

ホームページでのお問い合わせ（URL）.....<http://www.delonghi.co.jp/support>